

第33回 沖縄県 中学校駅伝競走大会

県3位・区間賞3名



【駅伝メンバー紹介】

- ①奥間知葉 (3年) ②仲程和史 (3年) ③宮里 光 (3年) ④植村元治 (3年)
 - ⑤渡嘉敷光真 (3年) ⑥仲間大貴 (3年) ⑦平川輝一 (3年) ⑧下園良太 (3年)
 - ⑨吉田圭吾 (3年) ⑩小渡貴之 (3年) ⑪古賀裕貴 (2年) ⑫宮城剛伸 (2年)
 - ⑬与古田将幸 (2年) ⑭國吉直人 (2年) ⑮伊保拓海 (1年)
- マネージャー ・ 安富祖 光 ・ 東門口瑞生 ・ 池原 倫 (3年生)



第 14 号

目 次

- 駅伝競走大会感想文 … 2
- 学校体育優良校受賞 … 3
- 中川小男子チーム優勝 3
- ことばの力は心の力 … 4
- 暴行死亡について …… 5
- カポレイミドルスクール
訪問団 …………… 6
- 金武町教育相談室 …… 8
- 食育について …… 9
- 成人ソフトボール …… 9
- 全国社会教育研究大会 … 10
- 金武町民俗芸能祭 …… 10
- 金武町文化祭 …… 11
- 玉城佳奈さん県大会へ … 11
- 作品の寄贈 …………… 11
- しまくとぅば大会・
子ども芸能祭 …… 12
- 編集後記 …………… 12

JOCジュニアオリンピックカップ 第23回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 真志喜さん (金武中3年) 県選抜選手へ!!



JOCジュニアオリンピック カップに向けて

真志喜 留 保

私達県選抜は全国ベスト4を目標に週5日の練習や県外合宿など頑張ってきました。
一度きりの大舞台なのでくいの残らないように精一杯頑張りたいと思います。

区間賞 おめでとう!!

区間1区 第3位

下園良太

記録16分10秒
(5km)

区間3区 第1位

古賀裕貴

記録6分07秒
(2km)

区間4区 第4位

伊保拓海

記録10分36秒
(3km)

学んだことは努力と感謝

3年3組 下園良太

21日に宮古で県駅伝大会がありました。

僕は、3年間サッカー一部の他に陸上をしていました。そして、今年でやっと念願の県大会に行くことができ、この日を心待ちにしていました。

大会前は、少し緊張してなかなか寝付くことができませんでした。大会当日は自分がエース区間一区を任されており、緊張はピークに達していました。

走り出すとペースが速くてきつかったけど、2区の人に見事3位でタスキをわたすことができました。

走り終わると3年間の陸上の思い出がたくさんこみ上げてきました。

陸上を通して学んだことは努力と感謝です。毎日暑い中、黙々と練習をして家に帰って、また練習をしたことが今日の自分につながっていると思います。そして、自分ひとりの力では絶対にここまでこれなかったと思うので支えてくれた人たちに感謝しています。

「人はやれば出来る」

2年2組 古賀裕貴

僕自身がこの結果に驚いています。

駅伝の練習はとともきつく大変でしたが、先輩方についていけるように頑張ったおかげで、よい結果につながったのだと思います。

「人はやれば出来る」という経験をさせて下さった江山先生や先輩方に感謝しています。

がんばってきてよかった

1年4組 伊保拓海

僕たち駅伝部は、第33回沖縄県中学校駅伝競走大会に出場し見事に3位に入賞することが出来ました。僕は地区大会では3区(2km)だったけど、県大会では1km増えて3kmを走るようになりました。たった1km増えただけだけど、とってもきつかったです。

走り終わったとき、「ここまでがんばってきてよかった」と思いました。

県大会では区間2位にも入賞して、とても嬉しかったです。僕は1年生で初めて県大会に出場したので、入賞した時、がんばってよかったなと思いました。

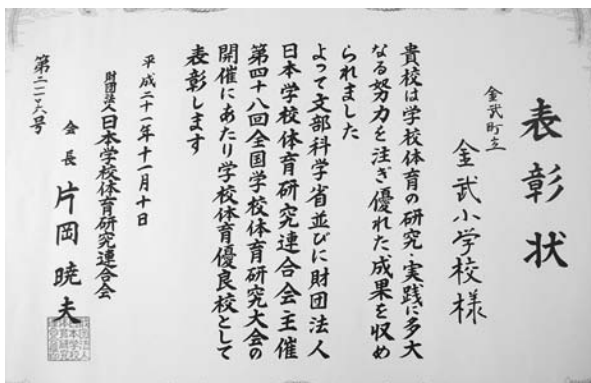
来年も頑張りたいです。江山先生や先輩方ありがとうございました。

学校体育優良校受賞!!

平成19～21年度の3年間、県教育委員会・町教育委員会指定「体育・スポーツ推進校」を受け、取り組んできました。これまでの取組が新体力テストの結果で本校児童が全国平均を上回ることが示されました。この取組が認められ、沖縄県から小・中・高各1校が全国学校体育優良校に推薦され全国学校体育発表会（島根大会）で表彰されました。それから、体育・ス



ポーツ推進校の指定を受けてから知・徳・体バランスのとれた児童の育成を踏まえ、健全育成と体力向上を図ろうと校長先生をはじめ、教職員が一丸となって理論研究や実践研究等を重ねてきた結果、多大の成果を残されました。この功労を讃え、代表として校長先生が功労賞を受け取られたことも併せて報告致します。



10月24日（土）、宜野座村内の体育館において開催されました北部地区3・4年生バレーボール大会において、中川小男子チームが優勝しました。

本大会は今回で15回目を迎えますが、なんと、中川小は8回優勝しています。また、久しぶりに出場しました女子チームも貴重な一勝をあげることができました。

日頃の練習が実を結んだものと思います。次の大会に向けても頑張ります。

【中川小学校便り 『なかがわっ子』より】

北部地区三・四年生バレーボール大会
中川小男子チーム優勝!!

ことばの力は心のか

言葉は、考え、思い、学び、伝えあうための手だてです。言葉が豊かになることは、考えや思いが豊かになることです。それは、人かららしく生き、社会のなかで人とかかわりをもって暮らしていくうえで、とても大事な事です。

人は、ことばによって自己表現するので、自分の思いや考えを相手に理解してもらうために、また、相手を理解するためにも「ことばの力」はとても重要です。

新学習指導要領では、すべての教科で言語活動を重視しています。学校生活の中で言葉を使い、生きてはたらくという実感を得ることで「ことばの力」を育んでいきます。本年度、子どもたちに「生きて働く力」を身につけさせたいと「読書活動の習慣化」を一事徹底にしています。本と友だちになろうと展開された「読書月間」は幕を閉じましたが、これからもっともと本が

読みやすい季節に入ります。ご家庭でも、テレビを消して家族みんなでお話しむ時間を設定くださるようお願い致します。月曜朝、子どもたちへの「読み聞かせ」で夢を育んで下さっている保護者の方々本当にありがとうございます。そのお一人の新島様には、授業参観のご講話、童話大会のスピーチと、言葉の力が思いやりや平和を愛する力に繋がることをお話ししていただきました。ことばの力は一生伸び続けるもの。それを育む主体は自分であり、自分を信じて大切に思う気持ちが必要です。その「自己肯定感」を育てるにはご家庭での会話が大切。子どものありのままを受けとめ安心して話し合える雰囲気づくりを心がけて愛のあふれる言葉で育んでいきましょう。

【嘉雲小学校便り】

【嘉雲っ子「より」】

ご寄付



奥間松蔵夫妻（金武町字金武3534番地の1）から育英資金の運用にお役立てくださいと金一封の寄付をいただきました。

誠にありがとうございました。

糸村昌助氏、福岡矯正管区区長から 感謝状を授与される

少年院で法務教官として42年間努め、退職後篤志面接員として12年続けておられてその間、少年の更生に尽力されました。これまでの功績を讃え、このほど、福岡矯正管区区長から感謝状が授与されました。また、町教育委員や区の老人会会長としても誠実に責務を果たされておられます。



うるま市中 2 暴行死亡について

全国ネットで報道された「うるま市中 2 死亡事件」に大変な衝撃を受けました。当初の調べに対し、「小屋から飛び降り、着地に失敗し背中を打った」と説明。司法解剖の結果から推測される調べにより、8人全員が暴行したことを認めた。

真相は究明途中で、詳細は明らかになっていないものの、母子二人で暮らしていて大切な子の二度と帰らぬ無念の死に涙し、失意の胸の内を打ち明けられました。「明るい子なのに、中学に入ってから何も話しながらない日がたまにあって、おかしいなと思った」。「心配かけないように耐える子だったから、本人はいじめられているとは言わなかった。目の下が大きく腫れるくらいのケガをしたことがあったが、その時も『自転車で転んだ』と本当のことは言わなかった」。と我が子の気丈な振る舞いを思い起こされていたそうです。

日頃から遊び仲間といわれていたが、母親は「空手を始めて、最近はグループから離れていた。そんなときに事件が起こった『最近遊ばないよな〜』などと言われたんじゃないか」と声を震わせていたそうです。

命とは、他のものに置き換えられない尊いものである。人間の尊厳である。

月刊「兵庫教育」連載講座で、東京大学名誉教授の養老孟司先生が、こう言っていました。「人が死ぬということがどういうことかと考えた時に、ほとんどの人は自分が死ぬことばかり考えているが、実は死んだ人ではなく生きている人に非常に大きな影響がある。」最愛の子どもを亡くした母親の失意は、言葉では言い表せない程だと思う。クラスメートの悲しみや怒り、悔しさを考えると決して許せない、二度と起きてはならないことだと思います。

「つき合いが悪くなった」「生意気」等々の理由からいじめの対象になるなどは、どの学校にもありがちな理由、決して対岸の火事とは思えない今回のこのような事件。

金武中学校では、《集団暴力の恐ろしさ、死亡した米森君や母親の「いたたまれない」気持ちを知ること「命の大切さ」考えてもらいたい、本校で、いじめや暴力があったら、見逃さず勇気を持って訴え出ること》というねらいを設定した道徳の授業が行われました。

少年法の改正により、家庭裁判所が「刑事処分相当」として検察官に送致（逆送）できる年齢を16歳から14歳に引き下げられました。そこで、金武中では、14歳を境にして逮捕と補導に分かれるということの意味を示した資料が用意されていましたので紹介します。



逮捕されたら

逮捕されたら 逮捕されると身柄は拘束される。拘束されると大抵は身柄と共に送検され、少年であろうとも大人と同じように司法の手続きに則^{のっと}って、検察や家庭裁判所へ送致され、その後少年鑑別所で生活を送りながら、最終的には審判を受け、大体は保護観察・少年院という流れになる。

刑罰が重く、一生犯罪歴がついて回る。（前科データベースに永久的に登録される：例えば殺人罪など）さらに、裁判の結果で、保護者（親）は被害者へ膨大な額の慰謝料を支払わなければならない状況もある。

補導されたら

警察を通して「児童相談所」「家庭裁判所」「検察庁」のいずれかに送検される。そして、審判が家裁で行われる。主に、これまでの判例からは14歳未満の傷害致死にかかる補導は少年院送り（保護処分）などという結果になっている。

今後、小学校においても児童の問題行動等の再発防止に向けた指導を徹底することになります。12月7日（月）には町民や地域の協力を得て、青少年の健全育成と児童生徒の問題行動等の再発防止に資するのをねらいとして、青少年健全育成連絡協議会を開催します。

カポレイミドルスクール訪問団

金武中学校に来る

金武中学校・ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流プログラム

平成19年8月に金武中学校とハワイ州カポレイミドルスクールが姉妹校を締結してから、交流事業を実施しています。

2年に1度相互訪問も実施しており、去る8月には、金武中学校の生徒10名及び教諭2名がカポレイミドルスクールを訪問しました。そして、11月3日から10日まで、カポレイミドルスクール生徒10名及び教諭3名が金武中学校を訪れ、友好的に交流を深めました。

😊 **歓迎会** 😊

11月4日、カポレイミドルスクール訪問団歓迎会が金武中学校で開催されました。全校生徒で、カポレイミドルスクール訪問団を盛大に歓迎し、代表生徒が舞踊や棒術演舞を披露しました。カポレイミドルスクールの生徒も素敵なフラを披露し、文化交流の場ともなりました。



カポレイミドルスクール生徒によるフラ☆



金武中学校生徒による伝統芸能披露！

町内視察や社会見学にも行きました



當山久三銅像前にて



金武町役場も訪問しました



首里城公園にも行きました



カポレイの先生方3名（左から3,4,5番目）

ホームステイ受入をした保護者の感想

カポレイからの留学生が11月3日に来沖しました。我が家で受け入れする子は女の子で、名前はナターシャ。彼女のお母様は大阪の方で、お父様がアメリカ人です。夏に彼女のお家に娘がホームステイしているので、どんな女の子かはおおよそ想像できますが、心の中は不安でいっぱいでした。楽しんでくれるかな？食べ物合うかな？ホームシックにならないかな？そんな心配は取り越し苦労でした。ナターシャは明るく元気で何でも知ろう体験しようという意欲いっぱいの子で、流暢な日本語を話し、とても素直な子でした。初日に一週間しかないからナターシャがしたい事を紙に書いてごらんと伝えたら、「カラオケ、プリクラ、たこ焼き、ショッピング」。週末に全てしようねと約束し、平日は他の留学生たちが遊びに来てバーベキューやWii大会で大騒ぎ。英語と日本語が飛び交い、とても楽しかったです。週末はカラオケへ……。 「私、日本の歌、歌えるよ」何の歌？と聞くと、「はぁー、テレビもねえ、ラジオもねえ、おまわり毎日ぐるぐる」といきなり吉幾三さんの「俺ら東京さ行くだ」を歌いだし全員絶句……。その後大爆笑！プリクラも家族全員で撮り、たこ焼きも食べ、ショッピングしてナターシャが好きな回転寿司にも行き、琉球ガラスでコップを作り、いつにも増してたくさん笑った週末でした。

最終日、私だけ仕事で見送りできないので、朝さよならを言おうとナターシャに声をかけると、顔が見れずうつむいたままずっと泣いているナターシャを見て、こちらも涙が止まりません。後で主人に聞くと、学校についてもずっと涙目で主人の方も辛くて、ナターシャの顔を見れなかったそうです。そして、何よりびっくりしたのは彼女の使っていた部屋に置手紙があり、そこには滞在中の楽しかった事や嬉しかった事など、たくさんの「ありがとう」が綴られていて、それを読み大泣きでした。彼女が帰国した後は、家族の一人がいなくなったようでみんな寂しく感じています。連絡は取り合っているので、いつか再会できる日が楽しみです。

金武町教育相談室

○小学生・中学生のみなさん、友だちや勉強のこと、いじめのこと、学校に行くときおなかがいたくなることはありませんか？
そんなときはきがるにでんわしてね。

○お父さん、お母さん、子育てで悩んでいませんか？
お気軽に電話を下さい。



電話相談



来室相談



訪問相談



☆教育相談室 NTT：098-968-3999 有線：7-2094

☆月曜日～金曜日：午前9時～12時（正午）まで * 祝祭日を除く

☆金武町教育委員会 教育相談員 **与那城 愛子**

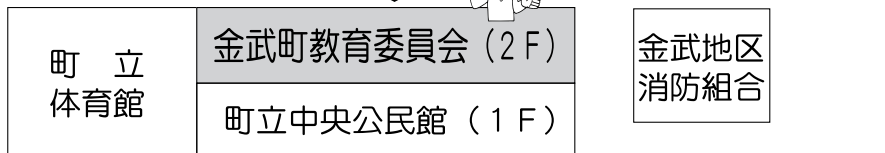
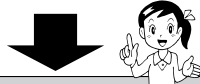
☆場所：金武町教育委員会内（中央公民館2F）

主管課：金武町教育委員会 学校教育課

NTT：098-968-2991



教育相談室は2階にあります



329号線

町営グラウンド

食育について

近年、食育という言葉をよく耳にするようになりました。

食育基本法という法律が制定され、子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくために、食育が重要であるということがです。

子どもの頃から、自分の体にとって必要な食べ物をバランスよく選ぶことや正しい味覚を育て、食べ物のおいしさをきちんとわかること、料理を作る能力を身に付けることが食育です。

これまで、食に関する知識は特別に教育しなくても日常的な生活や食事の中で自然に身に付くものと考えられてきました。

しかし、核家族化が進み共働きの増加、子ども達は部活や塾通いで忙しい生活スタイルの中では食に関する知識を得たり、興味をもつ機会が少なくなってきました。コンビニやファーストフード店に行けば、手軽に食事をすませることが出来ます。

しかし、これは子どもの偏食につながり、食べ物の好き嫌いを助長させ、食習慣の悪化を招いているとも考えられます。常に健康でいられるように、体をコントロールする能力を身に付けるために、実践していくことは、

難しいことではありません。休みの日に、夕食の材料と一緒に買いに行く、または子どもにメモを渡して買ってきてもらうことも子どもの食に対する興味は高まるはず。食事の手伝いや味見をしてもらうのも良いです。

また、地元でとれる産物を知ることや、料理に使われた材料はいくつあったか、味はどうか、何が足りなかったか、今日の夕食はバランスがとれているかなど、食に関する話題を子どもと交わすことも意義のあることです。食の基本は、やはり家庭にあると思います。ぜひ実践してほしいと思います。

第32回 金武町成人ソフトボール大会



▶大会の様子

平成21年11月29日(日)に金武町営グラウンドにて第32回金武町成人ソフトボール大会が行われました。晴天の下、8チームの選手の皆さんが日頃、体を動かす機会が少ない中汗を流しました。優勝は4区Bチームに輝きました。



▶準優勝
中川チーム



◀優勝
4区Bチーム

第51回全国社会教育研究大会

社会教育や生涯学習の推進をめざす第五十一回全国社会教育研究大会が十月二十九、三十日の両日、熊本市の崇城大学市民ホールなどで行われ、金武町から前田健次教育委員長、中江重博社会教育委員長、安富祖かの子同委員、與那城将同職員の四人が参加しました。

全国社会教育委員連合、熊本県教育委員会などが主催。全国の社会教育委員や関係者ら約千七百人が参加しました。

大会初日は、蒲島郁夫熊本県知事の講演の後、大橋謙策全国社会教育委員連合会長やPTA、自治体関係者ら四人が「社会教育の新しい方向性と担い手の創造」をテーマにパネルディスカッションが開かれました。全国から寄贈本を集めて図書館を開いた福島県屋祭町の活動が紹介され、「地域に貢献するため行政と住民が一体となること

が大事」などの意見が出ました。

最終日の三十日は、同ホールやくまもと県民交流館などで、生涯学習や家庭教育支援など五つのテーマで分科会が開かれ、本町の委員は、地域全体で子どもを育てるための連携とネットワークのあり方をテーマとした「地域の教育力」の分科会に参加しました。安富祖委員は「社会教育委員が地域とどう関わっているか、何をなすべきかーについて考えさせられた」と、感想を述べていました。



全国社会教育研究大会にて
(右から前田健次・安富祖かの子・中江重博・與那城将)

十一月八日(日)に中川地区公民館屋外舞台にて第十六回金武町民俗芸能祭が行われました。

金武町からは中川、並里、金武伊芸、屋嘉の五つの区が出演し、ゲストとして宜野座村漢那区に出演してもらい、「長者の大主」を披露していただきました。屋外舞台での民俗芸能祭ということもあり、大勢の方々に来ていただき大盛況でした。

第16回金武町民俗芸能祭



漢那区の「長者の大主」



金武区の「ミルク」



伊芸区の「南又島」



展示会場の様子（中央公民館ロビー）

十一月十一日（水）から十五日（日）まで金武町立中央公民館にて、第二回金武町文化祭が行われました。

期間中は中央公民館で、紅型、陶芸、工芸、写真、彫刻、絵画、エコクラフト、俳句、書道、生花（十一日から十二日）、ラン（十三日から十五日）、盆栽（十四日から十五日）の作品が展示され、十四日（土）には舞台部門の発表が行われました。

第2回 金武町文化祭



舞台発表の様子（中央公民館大ホール）



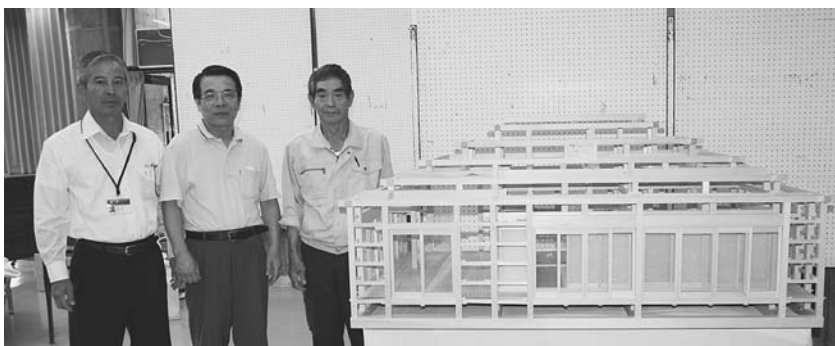
◀ 最優秀賞に選ばれた
玉城佳奈さん
(金武中学校一年)

2年連続県大会へ派遣！ おめでとう

第17回国頭地区童話・お話・意見発表大会（宜野座村大会）にて、金武中学校1年生玉城佳奈さんが最優秀賞に選ばれ県大会（島尻大会）へ派遣されます。昨年に続き2年連続の出場になります。

作品の寄贈

第二回金武町文化祭に出品された瑞慶山良信さんの木造建築模型が寄贈されました。ありがとうございます。



寄贈された木造建築模型

(右から 瑞慶山良信・文化協会長 宮内哲至・社会教育課長 仲田 實)



しまくとぅば大会・子ども芸能祭



子ども芸能祭の様子

11月15日（日）に金武町立中央公民館大ホールにて、第2回金武町しまくとぅば大会と第2回子ども芸能祭が行われました。子ども達が普段は使い慣れない方言を練習し、劇や日常会話での使い方として発表していました。

子ども芸能祭では、普段から練習している琴や三線、琉舞などを披露してくれました。



編集後記

金武中学校駅伝部の輝かしい成績には目を見張るものがあります。これまでの努力がこれほど着実に実を結んだのはそうそうあるものではありません。駅伝を通して学んだ諸君はそれぞれに大きな財産を得ました。おめでとう！よく頑張りました。

カポレイミドルスクールの皆さん約一週間に及ぶ金武中学校との交流お疲れ様でした。ホストファミリーとの出会いで、深い親好と絆が育まれたのだなあと。お別れセレモニーでの寂しくて辛そうな皆さんの様子を観て感じました。これで終わるわけではありません。これをきっかけに金武町や沖縄との交流を重ねて、ウチナーンチュとしてのアイデンティティ築いていって下さい。